

授業概要

小学校教員志望の学生が、なるべく早い段階で現場を知り、川口市における教育実習に役立つ体験の場を用意して、教員としての資質能力の向上を図る。

授業計画

第 1 回	大学オリエンテーション（春期4月、秋期9月）
第 2 回	小学校の教育課程・校務分掌などの理解（春期5月、秋期10月）
第 3 回	児童の発達段階・学習課題などの理解（春期6月、秋期11月）
第 4 回	記録ノートの書き方（春期7月、秋期12月）
第 5 回	小学校オリエンテーション（春期8月、秋期1月）
第 6 回	
第 7 回	教育インターンシップ (1) 活動期間：春期…9月の間の1週間、秋期…2月の間の1週間（小学校により日程が異なる）。 (2) 活動時間：1日7時間45分（休憩時間を除く）を上限とし、30時間を確保する。 (3) 活動内容：授業中の学習補助や、休み時間の子どもとの交流などを行う。
第 8 回	
第 9 回	
第 10 回	
第 11 回	
第 12 回	
第 13 回	
第 14 回	
第 15 回	
第 16 回	振り返りと今後の課題（春期9月、秋期4月）

到達目標

- (1) 小学校での現場体験を通して、教員という仕事の魅力を感じ取る。
- (2) さまざまな子どもと直接関わりながら、児童の多様性を理解する。
- (3) 大学で学んだ知識を捉え直し、新たな学習課題や学習意欲をもつ。

履修上の注意

- (1) 教育インターンシップⅠを履修するためには、原則として以下のすべての条件を満たすことが必要である。
 - ①前学期までに「教職基礎演習（小学校）Ⅰ」を履修済（履修中）であること。
 - ②教育インターンシップの活動期間が「保育実習」と重ならないこと。
 - ③教育インターンシップに必要な書類の提出及び手続きを所定の期日までに完了すること。
- (2) 講義や活動の欠席は特別の場合を除き認められない。認められた場合でも、講義や活動の振替が必要となる。

予習・復習

- (1) 予習
 - ①大学オリエンテーションなどの講義を通して、現場で活動する心得や姿勢を意識する。
 - ②小学校オリエンテーションの打ち合わせを通して、活動に必要な準備を進める。
- (2) 復習

活動中は毎日、記録ノートに気づきや学びを記入して、活動の振り返りに努める。

評価方法

大学の講義に対する理解、小学校の活動に取り組む姿勢、学生の記録ノートへの記述を総合して行う。

テキスト

テキストは使用せず、毎回の講義で必要な資料を配布する。

授業概要

幼稚園教諭志望の学生が、なるべく早い段階で現場を知り、幼稚園での教育実習に役立つ体験の場を用意して、教員としての資質能力の向上を図ることを目的とした授業である。この授業では、幼稚園に実習する前に学内で実施する「事前授業」、幼稚園での「実習」、実習後に学内で行われる「振り返り」で構成されている。実習前に行う学内授業では、実習するにあたり、必要とされる知識及びスキルについて指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	幼稚園の一日の流れ、実習内容などの理解
第3回	実習記録の書き方、お礼状の書き方
第4回	実習直前オリエンテーション（諸注意）
第5回	幼稚園オリエンテーション
第6回	
第7回	教育インターンシップ (1) 活動期間：春期…9月の間の5日間。 (2) 活動時間：1日8時間（休憩時間を除く）を上限とし、5日間、30時間を確保する。 (3) 活動内容：子どもとの触れ合う中で、子どもの発達、園生活の流れや教員の仕事内容について理解を深める。
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	
第16回	振り返りと今後の課題

到達目標

- (1) 幼稚園での現場体験を通して、教員という仕事の魅力を感じ取ることができる。
- (2) さまざまな子どもと直接関わりながら、子どもの多様性を理解することができる。
- (3) 大学で学んだ知識を捉え直し、新たな学習課題や学習意欲をもつことができる。

履修上の注意

(1) 教育インターンシップⅠを履修するためには、原則として以下のすべての条件を満たすことが必要である。

- ① 幼稚園の課程登録をしていること。
- ② 教育インターンシップの活動期間が「保育実習」と重ならないこと。
- ③ 教育インターンシップに必要な書類の提出及び手続きを所定の期日までに完了すること。

(2) 講義や活動の欠席は、特別の場合を除き認められない。認められた場合でも、講義や活動の振替が必要となる。

予習・復習

(1) 予習

- ① 大学オリエンテーションなどの講義を通して、現場で活動する心得や姿勢を意識する。
- ② 幼稚園オリエンテーションの打ち合わせを通して、活動に必要な準備を進める。

(2) 復習

活動中は毎日、記録に気づきや学びを記入して、活動の振り返りに努める。

評価方法

大学の講義に対する理解 20%、幼稚園での活動に取り組む姿勢 50%、学生の記録への記述 30%

テキスト

テキストは使用せず、毎回の講義で必要な資料を配布する。